

初夏の深夜、 幻想的に光を放つ 大垣市天然記念物金生山ヒメボタル。

ヒメボタルは一生を陸で暮らす陸生のホタルです
体長はオスで約9mm、メスは約7mm前後と小形のホタルですが、フラッシュのよ
うに鋭く発光します
メスは後翅が退化して飛ぶことができません。そのため分布域は限定され、地域に
よって発光活動の時間帯などには違いがあります
金生山ヒメボタルは23時頃から24時頃に発光活動を始める深夜型です
活動ピーク時のオスは1秒間におよそ2回黄金色に閃光発光しながら飛翔します
メスはオスの発光に誘われるように発光を始めますが、その発光は瞬くような光を
2～4秒に1回繰り返し、オスはメスが光で応えるとメスに接近して交尾します



金生山ヒメボタル

撮影 篠田通弘 (121秒間の露光、合成なしの1枚撮り、01時03分撮影、6月)

※ 金生山ヒメボタル生息地は明星輪寺境内地につき、「金生山
姫螢」観察会・写真教室以外の夜間立入は禁止されています
※ 問い合わせ先 金生山自然文化苑保存会事務局
大垣市赤坂町4610 金生山明星輪寺 TEL 0584-71-0124